5. 個別財務諸表等

(1) 貸借対照表

(1) 貸借対照表			前事業年度 (平成17年3月31日)		当事業年度 (平成18年3月31日))	対前年比
科目	注記番号	金額((千円)	構成比 (%)	金額((千円)	構成比 (%)	増減 (千円)
(資産の部)								
I. 流動資産								
1. 現金及び預金			3, 776, 856			3, 321, 492		
2. 受取手形			391, 086			463, 482		
3. 売掛金	※ 1		9, 851, 439			10, 844, 846		
4. 商品			3, 793, 192			3, 580, 962		
5. 販売用不動産			_			247, 925		
6. 貯蔵品			21, 521			18, 828		
7. 前渡金	※ 1		799, 655			151, 039		
8. 前払費用	※ 1		196, 473			251, 786		
9. 短期貸付金			511, 490			43, 396		
10. 繰延税金資産			326, 676			344, 273		
11. 未収入金	※ 1		1, 298, 123			1, 874, 899		
12. その他			249, 481			223, 676		
貸倒引当金			△24, 245			△35, 056		
流動資産合計			21, 191, 752	76. 4		21, 331, 552	74. 3	139, 799
Ⅱ. 固定資産								
1. 有形固定資産								
(1)建物		1, 468, 706			1, 479, 410			
減価償却累計額		680, 820	787, 886		730, 679	748, 730		
(2)構築物		7, 792			7, 792			
減価償却累計額		1,050	6, 741		1, 575	6, 217		
(3) 車両運搬具		43, 668	1		43, 068			
減価償却累計額		41, 485	2, 183		40, 915	2, 153		
(4)工具器具備品		456, 254	1		500, 711			
減価償却累計額		291, 453	164, 800		326, 500	174, 211		
(5)土地			213, 716			213, 716		
有形固定資産合計			1, 175, 328	4. 2		1, 145, 029	4. 0	△30, 299

		前事業年度 (平成17年3月31日))	当事業年度 (平成18年3月31日)	対前年比
科目	注記 番号	金額((千円)	構成比 (%)	金額(千円)	構成比 (%)	増減 (千円)
2. 無形固定資産								
(1) ソフトウェア			358, 039			193, 580		
(2)ソフトウエア仮勘定			_			933, 038		
(3)その他			36, 648			30, 050		
無形固定資産合計			394, 687	1.4		1, 156, 670	4.0	761, 983
3. 投資その他の資産								
(1)投資有価証券			165, 268			339, 841		
(2)関係会社株式			2, 152, 188			1, 782, 806		
(3)関係会社出資金			_			115, 561		
(4)出資金			100, 050			86, 554		
(5)長期貸付金			499, 693			458, 063		
(6)関係会社長期貸付金			_			178, 524		
(7)破産債権等			75, 459			57, 676		
(8)長期前払費用			26, 320			12, 389		
(9)繰延税金資産			325, 606			303, 881		
(10)長期差入保証金			1, 491, 609			1, 613, 004		
(11)その他			300, 758			272, 399		
貸倒引当金			△155, 885			△132, 315		
投資その他の資産合計			4, 981, 069	18. 0		5, 088, 387	17. 7	107, 318
固定資産合計			6, 551, 085	23. 6		7, 390, 087	25. 7	839, 001
資産合計			27, 742, 838	100.0		28, 721, 639	100.0	978, 801

		前事業年度 (平成17年3月31日)	当事業年度 (平成18年3月31日)		対前年比
科目	注記番号	金額 (千円)	構成比 (%)	金額(千円)	構成比 (%)	増減 (千円)
(負債の部)						
I. 流動負債						
1. 支払手形		479, 927		486, 696		
2. 買掛金	※ 1	10, 012, 187		11, 786, 714		
3. 短期借入金		1, 649, 500		1, 142, 000		
4. 未払金	※ 1	57, 780		97, 119		
5. 未払費用	※ 1	1, 948, 892		1, 944, 492		
6. 未払法人税等		622, 156		367, 121		
7. 前受金	※ 1	542, 765		749, 415		
8. 預り金	※ 1	1, 362, 370		953, 099		
9. 役員賞与引当金		_		22, 000		
10. その他		22, 602		4, 399		
流動負債合計		16, 698, 183	60. 2	17, 553, 060	61. 1	854, 877
Ⅱ. 固定負債						
1. 長期借入金		1, 549, 000		807, 000		
2. 退職給付引当金		288, 383		239, 870		
3. 役員退職慰労引当金		144, 832		162, 430		
4. 長期預り敷金		305, 373		423, 903		
5. その他		14, 017		10, 000		
固定負債合計		2, 301, 607	8.3	1, 643, 204	5. 7	△658, 402
負債合計		18, 999, 790	68. 5	19, 196, 265	66.8	196, 474

			前事業年度 17年3月31日)		当事業年度 18年3月31日)	対前年比
科目	注記番号	金額((千円)	構成比 (%)	金額((千円)	構成比 (%)	増減 (千円)
(資本の部)								
I. 資本金	※ 4		2, 558, 550	9. 2		2, 558, 550	8. 9	_
Ⅱ. 資本剰余金								
1. 資本準備金		711, 250			711, 250			
2. その他資本剰余金								
(1) 自己株式処分差益		46			113			
資本剰余金合計			711, 296	2. 6		711, 363	2. 5	66
Ⅲ. 利益剰余金								
1. 利益準備金		233, 200			233, 200			
2. 任意積立金								
(1) 別途積立金		3, 420, 000			4, 320, 000			
3. 当期未処分利益		1, 812, 837			1, 687, 906			
利益剰余金合計			5, 466, 037	19. 7		6, 241, 106	21. 7	775, 068
IV. その他有価証券評価差額 金			10, 399	0.0		17, 854	0.1	7, 454
V. 自己株式	※ 5		△3, 236	△0.0		△3, 500	△0.0	△263
資本合計			8, 743, 047	31. 5		9, 525, 373	33. 2	782, 326
負債・資本合計			27, 742, 838	100.0		28, 721, 639	100.0	978, 801

(2) 損益計算書

(2) 損益計算書		i			i			
		(自 平	前事業年度 成16年4月1 成17年3月31		(自 平	4事業年度 成17年4月1 成18年3月31	日 日)	対前年比
科目	注記 番号	金額(千円)	百分比(%)	金額(千円)	百分比(%)	増減 (千円)
I. 売上高	※ 1							
1. 航空関連売上		27, 171, 607			34, 728, 800			
2. 生活関連売上		26, 899, 808			27, 091, 032			
3. 顧客サービス売上		35, 148, 884	89, 220, 300	100.0	36, 027, 494	97, 847, 328	100.0	8, 627, 027
Ⅱ. 売上原価								
1. 航空関連原価		24, 344, 928			31, 652, 377			
2. 生活関連原価		21, 370, 543			21, 595, 146			
3. 顧客サービス原価		24, 833, 257	70, 548, 729	79. 1	25, 523, 140	78, 770, 665	80. 5	8, 221, 935
売上総利益			18, 671, 570	20.9		19, 076, 663	19. 5	405, 092
Ⅲ. 販売費及び一般管理費								
1. 荷造運送費		1, 065, 873			1, 037, 510			
2. 広告宣伝費		1, 434, 874			1, 510, 063			
3. 給与及び手当		4, 337, 790			4, 623, 808			
4. 退職給付費用		256, 391			200, 247			
5. 貸倒引当金繰入額		9, 076			20, 449			
6. 役員退職慰労引当金繰 入額		46, 261			46, 345			
7. 社外役務費		3, 422, 715			3, 610, 625			
8. 賃借料		2, 985, 551			3, 004, 862			
9. 減価償却費		301, 412			258, 829			
10. その他		2, 794, 189	16, 654, 138	18. 6	2, 596, 762	16, 909, 506	17. 3	255, 368
営業利益			2, 017, 432	2. 3		2, 167, 156	2. 2	149, 724
IV. 営業外収益								
1. 受取利息		24, 993			14, 866			
2. 受取配当金	※ 1	188, 759			190, 791			
3. 為替差益		24, 917			31, 336			
4. その他		123, 463	362, 134	0.4	91, 826	328, 820	0.3	△33, 313
V. 営業外費用								
1. 支払利息		53, 295			32, 952			
2. その他		33, 902	87, 198	0.1	14, 466	47, 419	0.0	△39, 778
経常利益			2, 292, 369	2.6		2, 448, 557	2. 5	156, 188

		前事業年度 (自 平成16年4月1日 至 平成17年3月31日)			当事業年度 (自 平成17年4月1日 至 平成18年3月31日)			対前年比
科目	注記 番号	金額(千円)	百分比(%)	金額(千円)	百分比(%)	増減 (千円)
VI. 特別利益								
1. 投資有価証券売却益	※ 1	15, 995			_			
2. 貸倒引当金戻入益		_	15, 995	0.0	6, 730	6, 730	0.0	△9, 265
Ⅷ. 特別損失								
1. 固定資産処分損	※ 2	73, 663			24, 808			
2. 関係会社株式評価損		_			369, 381			
3. 商品評価損		_			95, 181			
4. 固定資産減損損失	※ 3	123, 340			26, 507			
5. その他		800	197, 804	0.2	35, 522	551, 400	0.6	353, 596
税引前当期純利益			2, 110, 560	2. 4		1, 903, 886	1.9	△206, 674
法人税、住民税及び事 業税		960, 000			826, 000			
法人税等調整額		△85, 441	874, 558	1.0	△986	825, 013	0.8	△49, 544
当期純利益			1, 236, 002	1.4		1, 078, 873	1.1	△157, 129
前期繰越利益			576, 834			609, 032		
当期未処分利益			1, 812, 837			1, 687, 906		

売上原価明細書

区分	前事業年度	当事業年度	対前年比	区分	前事業年度	当事業年度	対前年比
1. 航空関連原価				3. 顧客サービス 原価			
期首商品棚卸高 (千円)	1, 798, 119	978, 689	54. 4	期首商品棚卸高 (千円)	308, 474	331, 526	107. 4
当期商品仕入高 (千円)	23, 525, 499	31, 641, 317	134. 4	当期商品仕入高 (千円)	24, 856, 309	25, 744, 251	103. 5
期末商品棚卸高 (千円)	978, 689	967, 629	98.8	期末商品棚卸高 (千円)	331, 526	552, 636	166. 6
差引商品売上原価 (千円)	24, 344, 928	31, 652, 377	130. 0	差引商品売上原価 (千円)	24, 833, 257	25, 523, 140	102. 7
計 (千円)	24, 344, 928	31, 652, 377	130. 0	計 (千円)	24, 833, 257	25, 523, 140	102. 7
2. 生活関連原価							
期首商品棚卸高 (千円)	2, 262, 930	2, 504, 498	110. 6				
当期商品仕入高 (千円)	21, 612, 111	21, 418, 098	99. 1				
期末商品棚卸高 (千円)	2, 504, 498	2, 327, 450	92. 9				
差引商品売上原価 (千円)	21, 370, 543	21, 595, 146	101.0				
計(千円)	21, 370, 543	21, 595, 146	101. 0	売上原価合計 (千円)	70, 548, 729	78, 770, 665	111.6

⁽注) 商品棚卸高には、貯蔵品を含んでいます。

(3) 利益処分案

		 前事業 	美 年度	当事為	対前年比	
科目	注記 番号	金額(千円)		金額(千円)		増減 (千円)
I 当期未処分利益			1, 812, 837		1, 687, 906	△124, 931
Ⅱ 利益処分額						
1. 配当金		280, 974		306, 515		
2. 役員賞与金		22, 830		_		
(うち監査役賞与金)		(1, 800)		(-)		
3. 任意積立金						
別途積立金		900, 000	1, 203, 804	700, 000	1, 006, 515	
Ⅲ 次期繰越利益			609, 032		681, 390	72, 358

重要な会計方針

	前事業年度	当事業年度
 1. 有価証券の評価基準及	 子会社及び関連会社株式	 子会社及び関連会社株式
び評価方法	一総平均法による原価法によっています。	同左
	その他有価証券	その他有価証券
	時価のあるもの	時価のあるもの
	決算日の市場価格等に基づく時価法に	同左
	よっています。(評価差額は全部資本直	INJ.Z.
	入法により処理し、売却原価は総平均法	
	により算定)	
	時価のないもの	時価のないもの
	総平均法による原価法によっています。	· ·
 2. デリバティブの評価基	時価法によっています。	同左
準及び評価方法		1,4577
3. 棚卸資産の評価基準及		
び評価方法		
(1) 商品(機内装着縫製	 先入先出法による原価法によっています。	同左
品を除く)	757 75 E. F. S.	, ,
(2) 機内装着縫製品	┃ ┃ 移動平均法による原価法によっています。	同左
(3) 販売用不動産		個別法による原価法によっています。
(4) 貯蔵品	最終仕入原価法によっています。	同左
4. 固定資産の減価償却の	(1) 有形固定資産	(1) 有形固定資産
方法	第32期以降新設分の空港店舗建物は、	同左
	定額法、第31期以前設置分の空港店舗建	
	物およびその他の有形固定資産は定率法	
	によっています。	
	なお、耐用年数及び残存価額について	
	は、法人税法に規定する方法と同一の基	
	準によっています。ただし、取得価格10	
	万円以上20万円未満の少額減価償却資産	
	については、一括償却資産として法人税	
	法に規定する3年間で均等償却する方法	
	によっています。	
	(2) 無形固定資産	(2) 無形固定資産
	定額法によっています。	同左
	なお、耐用年数については、法人税法	
	に規定する方法と同一の基準によってい	
	ます。ただし、ソフトウェア(自社利用	
	分)については、社内における利用可能	
	期間 (5年) に基づく定額法によってい	
	ます。	

	前事業年度	当事業年度
5. 引当金の計上基準		
(1) 貸倒引当金	債権の貸倒による損失に備えるため、一 般債権については貸倒実績率により、貸倒 懸念債権等特定の債権については個別に回 収可能性を勘案し、回収不能見込額を計上 しています。	同左
(2) 退職給付引当金	従業員の退職給付に備えるため、当事業 年度末における退職給付債務および年金資 産の見込額に基づき計上しています。 なお、会計基準変更時差異については5 年による按分額を費用処理しています。 数理計算上の差異は、5年による定額法 により、翌事業年度から費用処理しています。	従業員の退職給付に備えるため、当事業年度末における退職給付債務および年金資産の見込額に基づき計上しています。 数理計算上の差異は、5年による定額法により、翌事業年度から費用処理しています。
(3) 役員退職慰労引当金	役員退職慰労金の支払いに備え、内規に 基づく期末退職金の必要額全額を役員退職 慰労引当金として計上しています。	同左
(4) 役員賞与引当金		役員の賞与の支払いに充てるため、当事業 年度に負担すべき支給見込額を計上していま す。
6. リース取引の処理方法	リース物件の所有権が借主に移転すると 認められるもの以外のファイナンス・リー ス取引については、通常の賃貸借取引に係 る方法に準じた会計処理によっています。	同左
7. ヘッジ会計の方法	(1) ヘッジ会計の方法 繰延ヘッジ処理によっています。また 為替予約等が付されている外貨建金銭債 権債務については、振当処理の要件を満 たすものは、振当処理を行っています。 さらに、特例処理の要件を満たす金利ス ワップについては、特例処理を採用して います。 (2) ヘッジ手段とヘッジ対象及びヘッジ方 針 為替予約取引、通貨スワップ取引及び 金利スワップ取引を利用しており、外貨 建金銭債権債務についており、外貨 建金銭債権債務についており、外貨 建金利の変動による支払額に及ぼす影響を回避する目的で為替予約取引及び通 貨スワップ取引を行っています。また、 特定の借入金について、将来の支払金利 のキャッシュフローを最適化させる目的 で金利スワップ取引を利用しています。	(1) ヘッジ会計の方法 繰延ヘッジ処理によっています。また為 替予約が付されている外貨建金銭債権債務 については、振当処理の要件を満たすもの は、振当処理を行っています。さらに、特 例処理の要件を満たす金利スワップについ ては、特例処理を採用しています。 (2) ヘッジ手段とヘッジ対象及びヘッジ方針 同左

	前事業年度	当事業年度
	(3) ヘッジ有効性評価の方法	(3) ヘッジ有効性評価の方法
	為替予約等のデリバティブ取引は、基	同左
	本方針及び定められた権限に基づく承認	
	後統括部門である経理部において取引の	
	締結を行っています。全てのデリバティ	
	ブ取引について、「事前テスト」及び	
	「事後テスト」の状況を適時担当役員、	
	各関係部門に報告しています。	
8. その他財務諸表作成の	(1) 消費税等の処理方法	(1) 消費税等の処理方法
ための基本となる重要な	消費税等は税抜処理をしています。	同左
事項		

表示方法の変更

前事業年度	当事業年度
(貸借対照表)	(貸借対照表)
前事業年度まで流動資産の「その他」に含めて表示して	前事業年度まで無形固定資産の「ソフトウェア」に含め
いました「短期貸付金」は当事業年度において、資産の	て表示していました「ソフトウェア仮勘定」は当事業年
総額の100分の1を超えたため区分掲記しました。	度において、資産の総額の100分の1を超えたため区分掲
なお、前事業年度末の「短期貸付金」は124,534千円で	記しました。
す。	なお、前事業年度末の「ソフトウェア仮勘定」は68,489
	千円です。

追加情報

前事業年度	当事業年度
	(役員賞与引当金) 当期から、「役員賞与の会計処理に関する当面の取扱い (企業会計基準委員会 実務対応報告第13号 平成16年 3月9日)」を適用しています。この変更による損益へ の影響は軽微です。

注記事項

(貸借対照表関係)

平成17年3月31日			
※1. 独立掲記以外の資産・	負債に含まれる対関係会社残高		
資産			
売掛金	228, 426千円		
未収入金	92,253千円		

前事業年度

負債

上記以外の資産

環 買掛金 1,304,201千円 未払費用 272,983千円 上記以外の負債 27,783千円

84,885千円

2. 保証債務

3. 偶発債務

当社から販売したレトルトカレーに関連し、平成16年10月8日付けをもって㈱セシールより債務不履行及び不法行為にもとづく損害賠償訴訟(損害賠償請求額142,281千円)を提起され、平成17年3月18日付けをもって㈱ベルーナより債務不履行にもとづく損害賠償訴訟(損害賠償請求額300,000千円)を提起されています。

なお、当社としてはこのような訴訟を受ける根拠 はないものと判断し現在係争中ですが、訴訟の結果 によっては、当社の業績に影響を与える可能性があ ります。

※4. 授権株式数及び発行済株式総数

授権株式数 普通株式 20,000,000株 発行済株式総数 普通株式 12,775,000株

※5. 自己株式

当社が保有する自己株式の数は、普通株式3,424株です。

6. 配当制限

商法施行規則第124条第3号に規定する資産に時価を付したことにより増加した純資産額は10,399千円です。

当事業年度 平成18年3月31日

※1. 独立掲記以外の資産・負債に含まれる対関係会社残高 資産

売掛金210,812千円未収入金54,159千円上記以外の資産85,542千円負債買掛金3,064,984千円未払費用205,366千円

2. 保証債務

銀行取引に対する保証債務 JALUX EUROPE Ltd.

上記以外の負債

53,550千円

22,195千円

3. 偶発債務

当社から販売したレトルトカレーに関連し、平成16年10月8日付けをもって㈱セシールより債務不履行及び不法行為にもとづく損害賠償訴訟(損害賠償請求額142,281千円)を提起され、平成17年3月18日付けをもって㈱ベルーナより債務不履行にもとづく損害賠償訴訟(損害賠償請求額300,000千円)を提起されています。

なお、当社としてはこのような訴訟を受ける根拠 はないものと判断し現在係争中ですが、訴訟の結果 によっては、当社の業績に影響を与える可能性があ ります。

※4. 授権株式数及び発行済株式総数

授権株式数 普通株式 20,000,000株 発行済株式総数 普通株式 12,775,000株

※ 5. 自己株式

当社が保有する自己株式の数は、普通株式3,524株です。

6. 配当制限

商法施行規則第124条第3号に規定する資産に時価を付したことにより増加した純資産額は17,854千円です。

(損益計算書関係)

前事業年度 (自 平成16年4月1日 至 平成17年3月31日)		当事業年度 (自 平成17年4月1日 至 平成18年3月31日)	
※1. 関係会社との取引に係るものが次の通り含まれてい		※1. 関係会社との取引に係るものが次の通り含まれてい	
ます。		ます。	
売上高	11,609,248千円	売上高	1,615,016千円
受取配当金	176,266千円	受取配当金	179,413千円
投資有価証券売却益	15,995千円		
(㈱日本航空インターナショナル 日付の同社から㈱日本航空への株 社の関係会社ではなくなっていま 取引金額は、平成16年4月から乳 ものを記載しています。	式譲渡によって、当す。		
※2. 固定資産処分損の内容は、次の	通りです。	※2. 固定資産処分損の内容は、	次の通りです。
建物	70,389千円	建物	22,112千円
工具器具備品	3,120千円	車輌運搬具	30千円
ソフトウエア	154千円	工具器具備品	2,315千円
計	73,663千円	ソフトウエア	350千円
		計	24,808千円

前事業年度

(自 平成16年4月1日

至 平成17年3月31日)

※3. 固定資産減損損失

当事業年度において、当社は以下の資産について減 損損失を計上しました。

場所	用途	種類	減損損失 (千円)
空港店舗全7件 (大阪府泉佐野 市他)	空港店舗	建物・工具 器具備品そ の他	72, 017
静岡県伊東市	遊休資産	土地	51, 322

当社は、減損損失の算定にあたって、他の資産又は資産グループのキャッシュ・フローから概ね独立したキャッシュ・フローを生み出す最小の単位によって資産のグルーピングを行っています。

空港店舗については、平成17年3月に策定した中期事業計画において、将来キャッシュ・フローの大幅な減少が見込まれる店舗について帳簿価額を回収可能価額まで減額し、回収可能価額は使用価値により測定しています。使用価値については将来キャッシュ・フローを8.1%で割り引いて算定しています。遊休資産については、時価が下落しているものについて帳簿価額を回収可能価額まで減額し、回収可能価額は正味売却価額により測定しています。正味売却価額は取引事例価格に基準地価を加味して算定しています。

当事業年度

(自 平成17年4月1日 至 平成18年3月31日)

※3. 固定資産減損損失

当事業年度において、当社は以下の資産について減 損損失を計上しました。

場所	用途	種類	減損損失 (千円)
空港店舗全5件 (青森県青森市 他)	空港 店舗	建物・工具 器具備品	26, 507

当社は、減損損失の算定にあたって、他の資産又は資産グループのキャッシュ・フローから概ね独立したキャッシュ・フローを生み出す最小の単位によって資産のグルーピングを行っています。

空港店舗については、平成18年3月に策定した中期事業計画において、将来キャッシュ・フローの大幅な減少が見込まれる店舗について帳簿価額を回収可能価額まで減額し、回収可能価額は使用価値により測定しています。使用価値については将来キャッシュ・フローを5.2%で割り引いて算定しています。

① リース取引

前事業年度 (自 平成16年4月1日 至 平成17年3月31日)

- 当事業年度 (自 平成17年4月1日 至 平成18年3月31日)
- 1. リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引
 - ① リース物件の取得価額相当額、減価償却累計額相当額および期末残高相当額

	取得価額相 当額 (千円)	減価償却累計額相当額 (千円)	期末残高相 当額 (千円)
工具・器具・ 備品	166, 149	102, 275	63, 873
合計	166, 149	102, 275	63, 873

- ② 未経過リース料期末残高相当額(千円)1年以内32,4661年超33,291合計65,758
- ③ 支払リース料、減価償却費相当額および支払利息相 当額 (千円)

支払リース料51,110減価償却費相当額47,349支払利息相当額2,596

- ④ 減価償却費相当額および利息相当額の算定方法 減価償却費相当額の算定方法
 - … リース期間を耐用年数とし、残存価格を零と する定額法によっています。

利息相当額の算定方法

… リース料総額とリース物件の取得価額相当額 の差額を利息相当額とし、各期への配分方法に ついては、利息法によっています。

(減損損失について)

リース資産に配分された減損損失はありません。

2. 転貸リース取引に係わる注記

未経過受取リース料期末残高 (千円) 1年以内 526, 037 1年超 4, 216, 538 4, 742, 576 合計 未経過支払リース料期末残高 (千円) 1年以内 575, 177 1年超 4,846,103 合計 5, 421, 281

- 1. リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引
 - ① リース物件の取得価額相当額、減価償却累計額相当額および期末残高相当額

	取得価額相当額 (千円)	減価償却累計額相当額 (千円)	期末残高相 当額 (千円)
工具·器具· 備品	165, 418	76, 188	89, 230
合計	165, 418	76, 188	89, 230

- ② 未経過リース料期末残高相当額(千円)1年以内31,3921年超59,634合計91,026
- ③ 支払リース料、減価償却費相当額および支払利息相 当額 (千円)

支払リース料45, 207減価償却費相当額42, 009支払利息相当額2, 962

④ 減価償却費相当額および利息相当額の算定方法 減価償却費相当額の算定方法

同左

利息相当額の算定方法

同左

(減損損失について)

同左

2. 転貸リース取引に係わる注記

未経過受取リース料期末残高	(千円)
1年以内	896, 425
1 年超	3, 861, 395
合計	4, 757, 820
未経過支払リース料期末残高	(千円)
未経過支払リース料期末残高 1年以内	(千円) 811,504

② 有価証券

前事業年度(自平成16年4月1日 至平成17年3月31日)及び当事業年度(自平成17年4月1日 至平成18年3月31日)における子会社株式及び関連会社株式で時価のあるものはありません。

③ 税効果会計

	前事業年度 平成17年3月31日		当事業年度 平成18年3月31日	
1. 繰延税金	資産の発生の主な原因別の内]訳	1. 繰延税金資産の発生の主な原因別の内訳	
İ		(単位:千円)	(単	位:千円)
繰延税	金資産		繰延税金資産	
未払	賞与否認	206, 101	未払賞与否認	205, 409
その	他投資評価減否認	34, 539	その他投資評価減否認	35, 435
役員	退職慰労引当金否認	58, 932	役員退職慰労引当金否認	66, 093
未払	事業税否認	56, 792	未払事業税否認	37, 133
貸倒	引当金否認	70, 460	貸倒引当金否認	62, 834
退職	給付引当金限度超過額	117, 343	退職給付引当金限度超過額	97, 603
固定	資産減損損失否認	57,070	固定資産減損損失否認	63, 548
その	也	58, 176	棚卸評価減否認	38, 729
繰延税	金資産 計	659, 416	その他	53, 616
繰延税	金負債		繰延税金資産 計	660, 403
その	他有価証券評価差額金	△7, 134	繰延税金負債	
繰延税	金負債 計	<u>△</u> 7, 134	その他有価証券評価差額金	△12, 249
繰延税	金資産の純額	652, 282	繰延税金負債 計	△12, 249
			繰延税金資産の純額	648, 154
繰延税金 まれてい	資産の純額は、貸借対照表の ます。	以下の項目に含	繰延税金資産の純額は、貸借対照表の以下 まれています。	の項目に含
流動資産	一 繰延税金資産	326, 676	流動資産 — 繰延税金資産	344, 273
固定資産	一 繰延税金資産	325, 606	固定資産 — 繰延税金資産	303, 881
	脱率と税効果会計適用後の法 の原因となった主な項目別の		2. 法定実効税率と税効果会計適用後の法人税 との差異の原因となった主な項目別の内訴	
法定実	効税率と税効果会計適用後の	法人税等の負担		(%)
率との間	の差異が法定実効税率の100g	分の5以下であ	法定実効税率	40.69
るため注	記を省略しています。		(調整)	
			交際費等永久に損金に算入されない項目	5. 60
			法人住民税均等割	0. 52
			外国税額控除	$\triangle 2.21$
			受取配当金等永久に益金に算入されない項目	$\triangle 1.47$
			その他	0. 20
			税効果会計適用後の法人税等の負担率	43. 33

(1株当たり情報)

前事業年度		当事業年度	
1株当たり純資産額	682. 78円	1株当たり純資産額	745.83円
1株当たり当期純利益金額	94. 99円	1株当たり当期純利益金額	84.47円
なお、潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額につい		なお、潜在株式調整後1株当たり当	i期純利益金額につい
ては、潜在株式が存在しないため記載	していません。	ては、潜在株式が存在しないため記載	はしていません。

(注) 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前事業年度 (自 平成16年4月1日 至 平成17年3月31日)	当事業年度 (自 平成17年4月1日 至 平成18年3月31日)	
1株当たり当期純利益金額			
当期純利益 (千円)	1, 236, 002	1, 078, 873	
普通株主に帰属しない金額 (千円)	22, 830		
(うち利益処分による役員賞与金)	(22, 830)		
普通株式に係る当期純利益(千円)	1, 213, 172	1, 078, 873	
期中平均株式数(千株)	12, 771	12, 771	